

日	月	火	水	木	金	土
1 7:00日曜礼拝	2	3 13:30踊り教室	4	5	6	7 10:00 納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
8 7:00日曜礼拝 15:00雅楽教室	9	10 13:30れんげ会法座 「手作り教室」 ねこクリップを作ります♪	11 建国記念日 12:30ヨガ教室	12	13 【講師】 たかぎよりあき 聳城順亮師 (兵庫県)	14 10:00 あんのん堂合同参拝 (京都・大谷本廟内)
15 7:00日曜礼拝	16	17 13:30踊り教室	18 10:00 クリスタルヨガ	19	20 11:00写経会 13:30定例法座	21 13:30グランドゴルフ
22 7:00日曜礼拝	23	24	25 9:00 ボラン寺 (寺報発送作業) 12:30ヨガ教室	26	27	28 15:00壮年会法座 「浄土真宗の生活信条」

＜来月の予定＞21日(春分の日)春彼岸法要
【講師】福田了潤師(山口県)

天ちゃんの一言

★ 元旦会のお扱は葉 本願寺の見どころの一つ「八方睨みの猫」

本願寺の書院の天井には様々な形の書物が散らされていますが、その中に一匹だけ猫が描かれた巻物があります。大事な書物をねずみにかじられないように睨みをきかせるこの猫は、どこから見ても目が合うことから「八方睨みの猫」と呼ばれ、本願寺の見どころの一つです。なんとも遊び心がありますね！今年の元旦会には、この天井画が描かれた葉をお配りしました。どうぞ大切に使って下さいませ。

★ れんげ会法座では…簡単！可愛い！ねこクリップを作ります

毎年2月のれんげ会は、手作り教室。今年は、ねこクリップを作ります。前足の部分がクリップになっているので、カーテンをまとめたりと可愛く便利に使えます。おしゃべりしながら、手作りをしてみませんか！針と糸だけお持ち下さい。門信徒女性ならどなたでも大歓迎です。ご参加お待ちしております。2月10日(火)午後1時半より



門信徒会
入会案内

一緒に浄土真宗のみ教を聴きませんか。入会は随時受付。

毎月、お寺のたよりと仏教冊子を配布しています。法要や法話会にお参りしましょう。年会費：三千円。



☆島根 法照山浄園寺☆
4月8日に創建300年を迎えます。天真寺からの参拝旅行にぜひ参加下さい！

浄土真宗 本願寺派 天真寺

〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



月刊 天真
2月号

発行日 2015(平成27)年2月1日
発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
第455号



年頭の辞
門主 大谷光淳



新しい年のはじまりにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年、六月に法統を継承し、本願寺住職・浄土真宗本願寺派門主となりました。急速な社会状況の変化が激しい現代社会において、浄土真宗のみ教えがより多くの方にとって生きる依りどころとなるよう、伝えてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、昨年は皆さまにとりましてどのような一年でしたでしょうか。悲しいこと・つらいこと、あるいは、うれしいこと・楽しいことなどを経験された方も多くおられましょう。また、そのようなことのない一年を過ごしたという方もおられるかもしれません。

私たちの人生は、思い通りにいかないことがたくさん起こります。そして、自分の力だけでは解決できないこともあります。そのような時、私たちは、他人のせいにしてたり、諦めたりしてしまいます。しかし、阿弥陀さまのはたらきに出会い、真実の教えに基づいてわが身を振り返るとき、あらゆるいのちの繋がりの中で生かされている私に気付かされます。浄土真宗のみ教を聞き、「南無阿弥陀仏」とお念仏申す人生は、さまざまなご縁を大切にし、限られた命を精いっぱい生きる人生であります。本年も、念仏者として、一日一日を大切に過ごしてまいりましょう。(『大乘』1月号掲載)

年 回 表 平成27(2015)年

- 1 周忌 平成26(2014)年
- 3 回忌 平成25(2013)年
- 7 回忌 平成21(2009)年
- 13回忌 平成15(2003)年
- 17回忌 平成11(1999)年
- 23回忌 平成 5(1993)年

- 25 回忌 平成 3(1991)年
- 27回忌 昭和64年
- 平成元年(1989)年
- 33 回忌 昭和58(1983)年
- 50 回忌 昭和41(1966)年
- 100回忌 大正 5(1916)年

ご法事はお寺か自宅で、ご命日前後のご家族が都合のいい日におつとめ下さい。日の善悪は一切問いません。お寺への日時相談は、早めにお問い合わせ致します。ご法事は亡き方を偲び、今を生きる私たちが仏法に親しむ大切なご縁です。





定例法座

【日時】
2月20日(金) 11:00写経会 13:30法座

【講師】 聳城 順亮 (たかぎ・よりあき) 師
兵庫教区赤穂南組 法光寺副住職

どなたでもご自由にお参り下さい

過去帳持参の方は、尊前にお供えします
年回法要や命日をご縁にもお参り下さい

お参りに送迎車をご利用下さい

12:30小金原マルエツ駐車場→12:40栗ヶ沢公園前→
13:00JR新八柱駅南口メガネスーパー前→13:15新京
成常盤平駅北口福太郎駐車場
※送迎希望の方はお寺までお知らせ下さい



住職の独り言

天真寺ホームページで連載中
チェックしてね!!



□「逆境になって…」(1/7掲載)

春の枝に花あり 夏の枝に葉あり
秋の枝に果あり 冬の枝に慰(なぐさめ)あり
花や葉や果のある頃は気付かず、それらが消えた冬を迎えて、初めて見えてくる景色がある。人生もそうかもしれませんね。順境の時は見えなかった世界が、逆境に立たされて見えてくる。人の支えであったり、情けであったり…。深いご縁の有難さを知らされます。

ご参加
待って
ます!

□「老いがい」(12/30掲載)

歳とともに、耳は遠くなり、記憶力が薄れたり、体力がなくなったり…。でも、夕日の美しさに感動したり、木々の生命力に感じ入ったり、歳を重ねた経験から気づくよこびもある。お経でも、いつも同じお経を拝読していても、その時々によって感じ入る言葉に出遇うものだ。そんな気づきを大切にしたいですね。

□「浄土真宗は聴聞が修行」(12/28掲載)

聴聞によって、自分の所作を捨て去る。お念仏申さなくちゃとか、救って下さいとか、それらはすべて我が心から出てきたものであり、私の所作です。聴聞によって、如来さまにゆるされる自己を知り、救われる自己を知る。 合掌

●厳かに元旦法要がつとまりました

皆さんはどのような元旦を過ごされましたか。天真寺では「元旦会」をつとめました。新年の挨拶を交わし、初参りをして、大変清々しい気持ちになりました。さらに今年はスペシャル! 門信徒の渡士龍文さん(尺八)と斉藤雅子さん(お琴)が「六段の調」を演奏して下さいました。雅な音色を聞かせていただき、お正月気分をゆったりと味わうことができました。ありがとうございました! 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



●一緒にしましょう! 門信徒会旅行 天真寺ルーツ浄円寺報恩講参拝と島根の旅

天真寺の初代西原正念住職(先代)は島根県の浄円寺のご出身ですが、その浄円寺が開基300年を迎えます。これを機に天真寺のルーツというべき浄円寺の報恩講に参拝させて頂きながら島根の旅を楽しみたいと思います。多くのご門徒の皆様にご参加頂きたくご案内申し上げます。

期日: 4月8日~10日または4月7日~9日
費用: 未定ですが6万円程度を予定
観光: 参加者の打合わせ会で決める予定
申し込み: 出来るだけ早くお申込み下さい



(幹事 小林さん)

天真寺 天ちゃん募金

「できる人が、できることを」をモットーに続けてきたお寺のボランティア活動。これまでもカンボジアの子ども支援や、貧困や戦争で苦しむ国々への募金活動などを行っています。皆様のあたたかいお気持ちをお寄せ下さい。

【郵便振替】00270-5-82663

【加入者名】天ちゃん募金



グチコレ

副住職 西原龍哉

1.グチコレ(グチコレクション)

街頭で行き交う人たちの愚痴を聞く「グチコレ」という取り組みがあります。主に京都で浄土真宗を学ぶ見習いのお坊さんたちが、駅前にそびえる京都タワーの下で行っています。

2.三毒の煩惱

愚痴は仏教語であり、三毒の煩惱といわれる「貪欲・瞋恚・愚痴」の代表格です。貪欲とは、むさぼりの心。どこまでいっても満たされない、足りるを知らない心。瞋恚とは、むさぼり続けて思い通りにいかない不平不満です。この三つの煩惱は、別々の心の状態ではなく、つながっています。原因は「無明」です。事実を事実として受け止めることができない心の状態をあらわします。

3.愚痴のとらえ方

先日私がグチコレに参加し、お伺いしたグチの数々です。「会社の人間関係にうんざりしている」「働きたくない」「学校に行っても面白くない」。これらの愚痴を聞けば、ネガティブに捉えられるかもしれません。しかし、この言葉の背景には、「会社の人間関係がうまくいっていない」「仕事で疲れている」「遊びたい」という本心が隠れています。この活動では、愚痴をネガティブなものとして捉えるのではなく、本音を吐き出し自分の心とじっくり向き合うポジティブなものとして捉えています。

4.愚痴の語源

「愚」は愚かさをあらわし、「痴」という字は、「やまいだれ」に知識の知という字で構成されています。やまいだれは、疾病や病気を指します。自己中心に考える分別の知識は、入院しなければならない状態なのです。その原因が無明、事実を事実として受け止められない煩惱三昧の私の姿があります。



5.阿弥陀さまのお心

聖道門の仏教では、愚痴=煩惱=悪と苦しみを作り出す種と考え、煩惱を取り除く行を大切にします。しかし阿弥陀さまの教えでは、どうでしょう。阿弥陀さまは、煩惱を抱え苦しむ悲しんでいるいのちをすべて見取った上に、その事実が他人事ではなく、「もっとも極苦なり」と我が事として下さいます。阿弥陀さまは我が身が引きちぎられるほどの思いをしながら、抱き、温め、喚びづめに喚んで、この私のいのちを包み込んで下さっているのです。

6.愚痴の力

真摯に話を聞いてくれる人がいないと、ストレスがたまって愚痴が出てしまいます。思いを受け止めてくれる人がいれば、愚痴もただの練り言から、自分の心と向き合う言葉として質的な変化が生まれます。現代の競争社会では、人に弱音を見せたくない、負けたくないという風潮が強く、本音で付き合うことが難しいようです。もっとお互いが心を許し合い愚痴を言い合える社会になれば、この窮屈なストレス社会も変わるのでは…と愚痴の力に期待を寄せています。

7.東京大人グチコレ

昨年末より東京でも「グチコレ」をスタートさせました。ただ路上での活動には道路使用許可証の問題があり、苦戦しております(*_*)現在は四谷のお店を会場に、月に一度開催しています。そのうち、天真寺でもグチコレが開催されるかもしれません! 皆さん愚痴を大切にためておいて下さい。ちなみに「グチコレ」は本願寺の活動のため、集められた愚痴の数々は本願寺運営の「他力本願.net.」に掲載されていますので、ご覧下さい。

→ <http://tarikihongwan.net/collection>

